



5 協議事項議論ポイント（企画課作成）

資料4

■はじめに

- ・本日の協議事項である『令和7年度サマーレビューの結果』について、本日、限られた時間の中で、委員の皆様とより効率的かつ効果的に議論を活性化するため、次のとおり議論のポイントを整理しました。

■政策の柱1 教育・学び

【令和6年度KGI達成状況の要因分析・令和8年度に向けた課題（総括）】

- ・「全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点（KGI）」について、小中学校ともに令和5年度実績より減少傾向にあるとともに、令和6年度目標値に達していない状況。

この現状を踏まえ、令和6年度サマーレビュー同様、「南相馬市の授業スタイル」を基本に教育の指導力向上、家庭学習の定着に取り組むとあるが、これまでの取組の成果を踏まえ、令和8年度に向けた基本的な考え方として、現状維持ではなく、『抜本的な見直し』を検討すべきではないのか。

また、令和7年度サマーレビューでは、新たに『質的・量的な向上』に取り組むとあるが、同様にどのような課題感をもって、具体的に取り組んでいくのか。

■基本施策「1. 学校教育」

【令和6年度の基本施策の評価・令和8年度に向けた課題】

- ・「全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点（KGI）」の要因分析で、特に算数と数学に課題があると評価されている。一方で、当該基本施策における令和8年度に向けた課題では、学力向上に関して、算数と数学に限らず、各教科において、子ども達が主体的に学べる授業改善、児童生徒一人一人に適した指導を行えるようにする必要があるが、学力向上に関する全体の課題感としては、当該基本施策の方向性で良いか。その上で令和8年度の施策の取組方針ほか整理されたという理解でよいか。



5 協議事項議論ポイント（企画課作成）

資料4

■施策「②教育水準の向上」

【令和6年度の施策全体の評価・令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方】

・「全国学力学習状況調査」、「ふくしま学力調査」、「市学力調査」、それぞれの調査結果から、各教科の実態、成果や課題を明確にし、市全体で共有し指導改善に生かすとあるが、現時点で**全体として具体的にどのような課題感をもって、今後、各校で分析し、自校の課題を明確にしていく考え方**なのか。

また、**国際バカロレアの研究開発校**で行う**試行授業**を通して、**双方向・協働型の探究型学習**を学習意欲の向上につなげる方法の研究を行うとあるが、本取組の将来的な成果（長期的な視点）ではなく、現在、**直近の課題である学力向上（例：算数・数学に課題、または全教科）の視点（短期的）**で見た場合、今後、**どのような成果を期待し、具体的に取り組んでいくのか**。

■施策「④児童・生徒の状況に応じた支援の充実」

【令和6年度の施策全体の評価・令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方】

・「**不登校児童・生徒の割合（KPI）**」について、小中学校ともに、令和5年度に続き、令和6年度も**目標値に対し、実績値が大きく下回っている状況**。特に中学校においては、**令和5年度より更に「下降」している状況**となっている。これらKPIの達成状況に対し、**コロナ禍による生活環境等の変化**に加え、児童・生徒並びに保護者の「**無理せず休もう・学校登校にこだわらない**」考え方が広まったとした**根拠（因果関係）**と、**小中学校における差について、どのように評価・分析されているのか**（例：近隣・類似団体、全国平均との比較など）。

また、令和8年度向けて、**今後、「不登校児童・生徒の割合（KPI）」**について、学校支援員や介助員などの活用による児童生徒に寄り添った対応や、児童・生徒、保護者、関係機関との連携によるいじめの早期発見など、**引き続き改善を図っていくのか**。または、スペシャルサポートルームや教育支援センター等の活用など、**現状をふまえ対応にウエイトを置いた施策（シフトした）展開を考えているのか**。